

経営比較分析表（令和3年度決算）

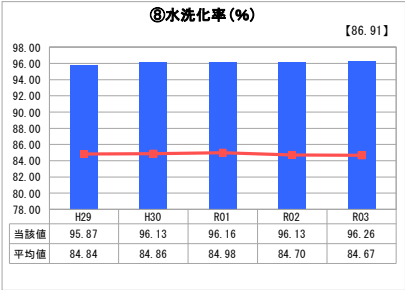
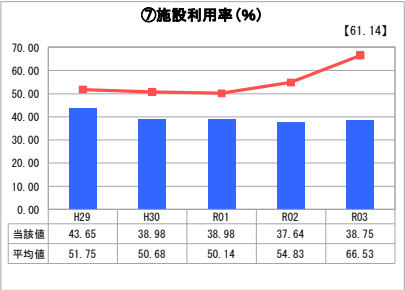
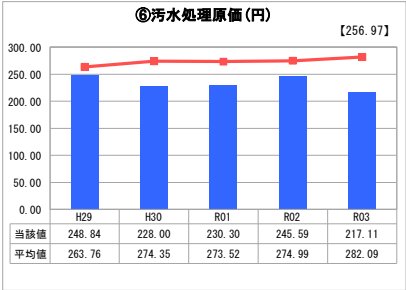
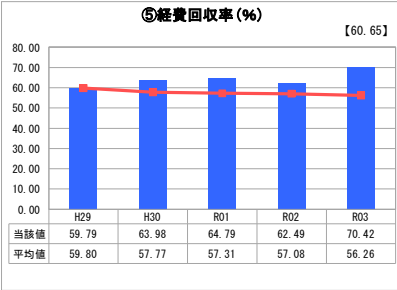
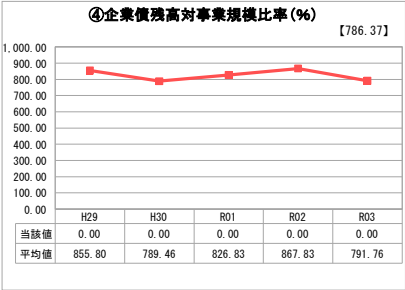
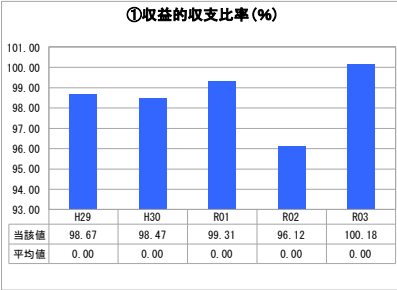
栃木県 那珂川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	4.42	84.48	2,820

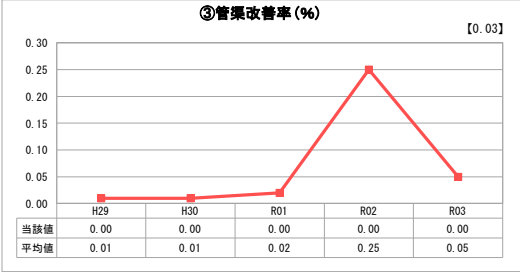
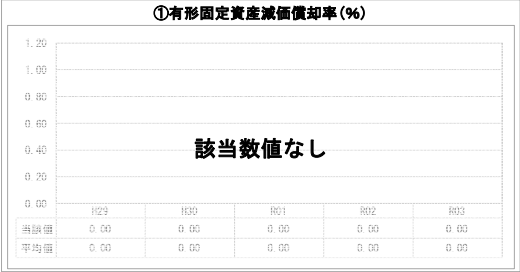
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,286	192.78	79.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
669	0.49	1,365.31

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・類似団体に比べて、経費回収率が高く、汚水処理原価が低い状況であるが経費回収率は100%未満であるため、使用料収入で汚水処理費が賄うのが困難である状況である。汚水処理費を賄う財源確保のため、汚水処理費の削減等、経営改善を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

・供用開始後25年程度経過しており、施設が老朽化している状態であることから、施設の老朽化に対して、計画的な対策を講じていく必要がある。

全体総括

・人口減少等により、使用料収入の増加は見込めない状態であるため、経営健全化に向けた施策を検討していく必要がある。

・処理区域内の面整備は完了しており、新たな投資は予定はない。

・今後、老朽化に伴う施設の改築更新については、設備の優先順位により計画的におこなっていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。